

## 「日当直、こんな時どないするねん～あなたの疑問こたえませ！！」

## 生化学検査

◎三栖 徹也<sup>1)</sup>  
久留米大学病院<sup>1)</sup>

日当直業務において、皆さんが不安に思うデータを提示いたします。特にアンモニアのような項目において、パニック値に該当するようなデータ出現時は「急いで報告する」か「間違いない値かどうか確認のための再検」かは、悩ましいと思います。

以下は、緊急検査室に気送管にて提出された検体の測定データです。  
検体の搬送条件に特におかしなところはありませんでした。

|           |            |         |            |
|-----------|------------|---------|------------|
| AST       | 22 U/L     | 総ビリルビン  | 0.9 mg/dL  |
| ALT       | 30 U/L     | 直接ビリルビン | 0.1 mg/dL  |
| LD(IFCC)  | 205 U/L    | Na      | 141 mmol/L |
| ALP(IFCC) | 90 U/L     | K       | 4.2 mmol/L |
| γGT       | 23 U/L     | Cl      | 108 mmol/L |
| ChE       | 312 U/L    | CRP     | 0.1 mg/dL  |
| 総蛋白       | 6.6 g/dL   | カルシウム   | 9.3 mg/dL  |
| アルブミン     | 4.1 g/dL   | 無機リン    | 4.0 mg/dL  |
| 尿素窒素      | 8 mg/dL    | アミラーゼ   | 34 U/L     |
| クレアチニン    | 0.65 mg/dL | 血糖      | 103 mg/dL  |
| 尿酸        | 4.6 mg/dL  | アンモニア   | 394 μg/dL  |

このような検査データをみたら、あなたはまずどう動きますか？なにをしますか？

当院では日当直は2名体制にて行っています。  
今回は実際の状況を追体験しながら考えてもらえたらと思います。

久留米大学病院 臨床検査部  
0942-35-3311(内線 6060)